

記者発表資料

国道140号「らいでんとどろき雷電廿六木橋」の 「土木学会デザイン賞2010」 最優秀賞の受賞について

滝沢ダム建設事業に伴う付替道路として、秩父市大滝に建設された国道140号の「雷電廿六木橋」が、「土木学会デザイン賞2010」の最優秀賞を受賞しました。

授賞式および受賞者プレゼンテーションが下記のとおり開催されますのでお知らせします。

なお、「雷電廿六木橋」は、これまでも「土木学会 田中賞」や「経済産業省（現 財団法人日本産業デザイン振興会）グッドデザイン賞」等を受賞しています。

記

1. 開催日時 平成23年2月5日（土） 13:00～18:00
2. 開催場所 土木学会 講堂
住所：東京都新宿区四谷1丁目無番地（外濠公園内）
JR・東京メトロ四ツ谷駅下車徒歩約5分
電話：03-3355-3559（代表）
3. その他 詳細については、下記の土木学会HPをご覧ください。
<http://www.jsce.or.jp/committee/lsd/prize/2010/2010ceremony.html>

平成23年2月2日



独立行政法人 水資源機構
荒川ダム総合管理所

配布記者クラブ

竹芝記者クラブ
県政記者クラブ
秩父記者クラブ
水資源記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所

第一管理課長：星野 ほしの 公秀 きみひで（電話0494-23-1431代表）

1 土木学会デザイン賞の概要

土木学会デザイン賞（正式名称「土木学会景観・デザイン委員会デザイン賞」）は、優れた作品を通して土木デザインの重要性を社会に問うとともに、才能ある設計者やデザイナーに光を当て、これらの努力が社会の広汎な支持を得ることを目的として、2001年に創設されたものです。

2. 雷電^{らいでんとどろき}廿六木橋の概要

埼玉県秩父市大滝に建設された「雷電廿六木橋」は、独立行政法人水資源機構が滝沢ダム建設事業に伴う秩父甲州往還の国道140号の付替道路の一部として整備したもので、「^{とどろき}廿六木大橋（L=270m）」（上流側に位置）と「^{おおたき}大滝大橋（L=345m）」（下流側に位置）、その間の土工区間（L=145m）と合わせて1つのループ形状を有した全長760mの橋梁です。1992年から設計を行い、1995年に工事に着手し、1998年から供用を開始しています。現在は埼玉県が管理を行っています。

デザインの特徴は、①橋梁による風景の構築を果たしたこと、②コンクリートの経年的な汚れの付着を積極的に活かした造形であること、③橋梁を取り巻く土工、展望台など空間全体をデザインしたことが挙げられます。

竣工後約12年という時間が経過しましたが、コンクリート構造物の局所的な汚れが押さえられ、味わい深いエイジングが実現できたこと、ダム天端も含め橋梁周辺に多数の視点場、駐車場が整備されていることなどから、地域のランドマークとして定着しています。

	[廿六木大橋]	[大滝大橋]
道路規格	第3種第3級 設計速度40km/s	同左
橋梁形式	PC5径間連続ラーメン	同左
橋長	270m	345m
有効幅員	8.25~9.25m	同左
縦断勾配	7.0~5.0%	同左



滝沢ダムと雷電廿六木橋

3 雷電廿六木橋の位置



4 雷電廿六木橋の受賞履歴

- 土木学会 田中賞 (1998年度)
- プレストレストコンクリート技術協会 作品賞 (1998年度)
- 日本コンクリート工学協会 作品賞 (1998年度)
- 経済産業省 (現 財団法人日本産業デザイン振興会) グッドデザイン賞 (1999年度)